

ジュネーブでの透析体験

2019年7月にスイスジュネーブの Centre de Dialyse d'Onex で2回透析をしました。

Centre de Dialyse d'Onex はレマン湖に架かるモンブラン橋からタクシーで約15～20分くらいの所にあり、片道35スイスフラン程でした。施設は路面電車の停留所ONEX（オネ）のすぐ目の前にありましたが、どこ行きの電車に乗ればよいのか分からないのでモンブラン橋の近くにとったホテルからタクシーで行きました。

同センターへの透析依頼はメールで行い、1週間もしないうちにわりと早く受け入れの返事が来ました。

午前の透析開始は朝7～8時ということです。同施設の透析機は大体十数台位だったでしょうか。こじんまりした施設です。

施設では、まず、体重を測定し、腕を洗うよう指示があり、液体石鹸とペーパータオルが備え付けてありました。看護師が穿刺していましたが、私は家庭透析をしており17ゲージの穿刺針があるということでしたので自己穿刺しました。車いす患者用にベッドも3～4ありました。

透析開始後、メールでやり取りしていた方が来て2～3会話。暫くして、朝食にハムを乗せたパンとマグカップになみなみの紅茶が出されました。その後、医者が来て会話を2～3。私の拙い英語でも何とか用は足せました。

透析終了後、診療明細書の作成をお願いし、次回の費用も合わせて530CHF×2回をまとめて払い、タクシーを呼んでもらい帰りました。透析費用もタクシー代も高めですが、物価の高いスイスではこんなものかも知れません。

シャモニーから帰って2回目の透析を午後から行いました。午後は13時からなのですが、13時15分に来るように言われました。この日も、パンと飲み物が出されました。午後からも食事が出されるとは思いませんでした。透析終了後、領収書と診療明細書を受け取り、タクシーを呼んでもらって帰り、2回の透析も無事終了しました。